

地域でインクルーシブ

防災は日常のつながる力・備えから



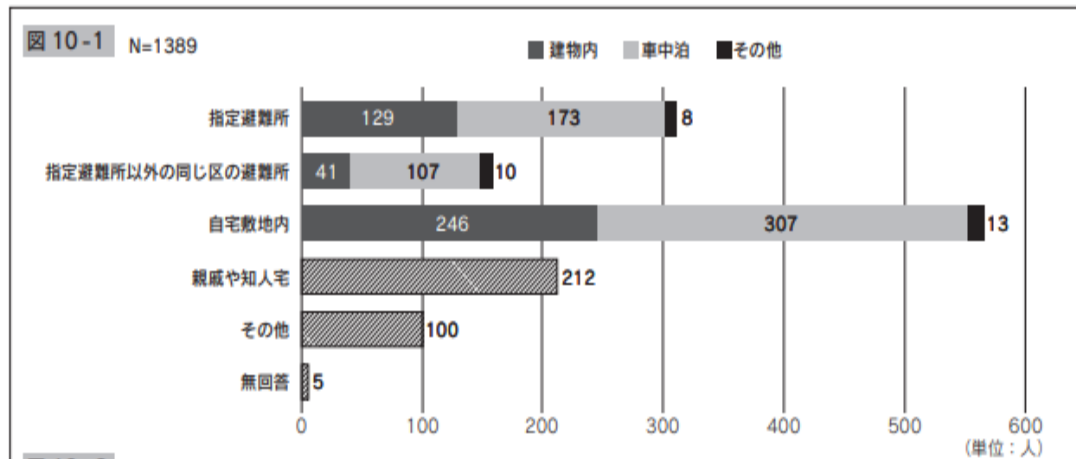
この情報誌の発行はまちづくり協働推進事業として

東海市が NPO 法人 SmileyDream に委託しています

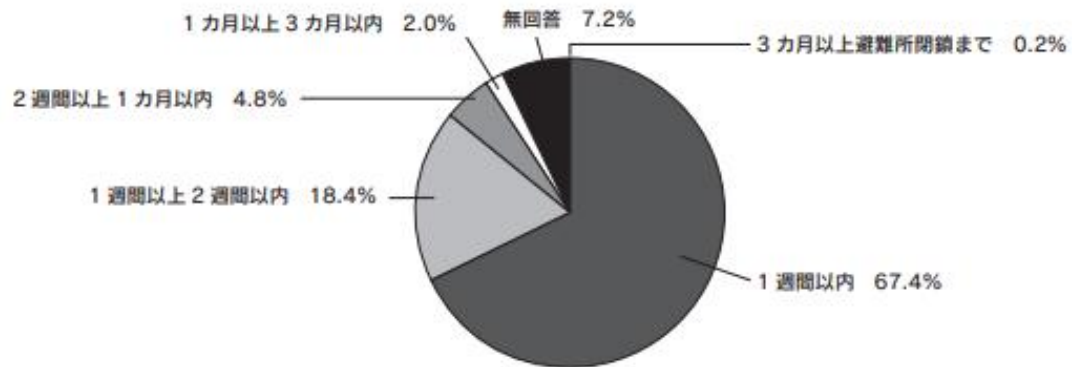


熊本地震を経験した「育児中の女性」へのアンケート調査

2回目の地震の直後の生活をしていた場所

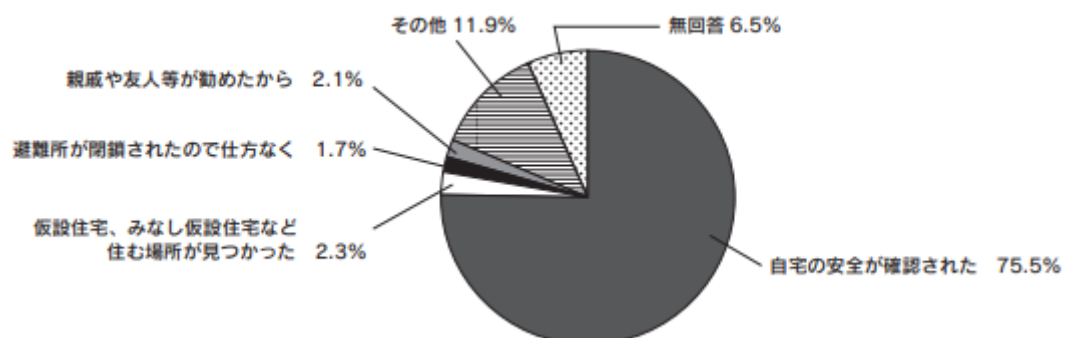


避難所の滞在期間



避難所から現在の場所に移られた理由

12 N=478





避難所で特性に応じて配慮する必要がある人

多種多様なカテゴリーに属する避難者がみえますので、周囲の理解などさまざまな配慮が必要です。



高齢者

基本的には受付やトイレに近く、上り下りのない1階。元気な高齢者には冬季は底冷えの少ない2階をスペースにします。SNSだけではなく正確に情報が伝わる配慮が必要なため掲示や回覧も活用しましょう。



妊産婦

産前産後は体が冷えないよう毛布や暖房器具などの準備、体調管理や衛生面でも特別な配慮が必要です。周囲から独立したスペースを確保し、出産の際は専用の施設や母子避難所などへの入所を検討しましょう。



乳幼児

泣きやまない時、気分転換に外に出やすいよう出入り口のそばをスペースにします。プライバシーに配慮したオムツ交換、授乳スペースも確保しましょう。乳幼児の体重を量ることができるとより安心でしょう。



障がい者・要介護者

一般の避難所での生活が困難な場合は、福祉避難所といった専用の避難施設を検討しましょう。「避難行動要支援者名簿」に登録することが義務付けられています。



ジェンダー

単身者や女性・男性だけの家族の場合、別のスペースを設けたり、女性用品の配布場所や女性相談員を設けるなどの気配りが必要です。また、性的少数者に対する設備や運営に配慮しましょう。



外国人

会話や文字の理解度を考え、やさしい日本語で掲示物を書いたり、ゆっくり話したり、外国語ができる方や日本語ができる外国人の協力が必要です。また文化や習慣の違いにも配慮しましょう。

感染症養成者および感染の疑いのある方

コンパクトな場所に確実に隔離できる居住スペースを設置。専用のトイレスペース、ゴミ箱、物資置き場などを確保し、看護人の動線も含めて避難所内での行き来は避けるようにしましょう。

ペット

一般の避難者から隔てられた専用の居住スペースを準備しましょう。ケージに入れる、食事やトイレなどの世話は飼い主がするといったルールを決めて、お互いに情報を共有しましょう。



被災した時は避難所だけでは

避難所には全員が入れるわけではありません。今住んでいる家屋が安全であれば在宅避難を

避難所レイアウトの見本

共同スペースの例

- | | |
|------------|---------------|
| ①運営本部 | ②受付 |
| ③掲示板及び掲示場所 | ④面会室、談話室 |
| ⑤救護施設（保健室） | ⑥調理場所（給食室、校庭） |
| ⑦更衣室、授乳室 | ⑧洗濯場・物干し場 |
| ⑨仮設トイレ | ⑩ゴミ置き場 |
| ⑪仮設風呂・シャワー | ⑫喫煙所 |
| ⑬駐車場 | ⑭ペット飼育場 |



東海市避難所運営マニュアル作成ガイドブックより



避難所は、避難された住民の皆さんの自治による開設・運営を目指すこととしています。

東海市避難所運営マニュアル作成ガイドブック

地域みんなで力を合わせ困難を乗り越えよう

<http://www.city.tokai.aichi.jp/21086.htm>



愛知県妊産婦・乳幼児を守る災害時ガイドライン

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/ninsanpunyujigaidoline.html>

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

国際交流課「外国人のための防災ハンドブック」

<https://kokusai.oihf.or.jp/project/saigaisupport/handbook/>



他にも配慮が必要な方のためのガイドブックがありますので検索してみましょう！



なく日常の地域力が大切です

される方も多くなります。いざという時ほど日頃からの地域とのつながりが安心につながります。

高齢者

サロンに出かけてお茶を飲みながら話をしたり、体操や囲碁将棋などの趣味活動をしたり、近所でお友達ができると助け合うことができますね。

妊産婦

母親教室(両親学級)全 5 回があります。ぜひ参加して、同じ時期に出産をする母親同士つながりましょう!対象は所妊婦とそのパートナーです。

乳幼児

サークルや講座に参加したり、子育て支援団体の SNS に登録するといいですね。オンラインで友達のグループがあると情報共有ができます。

障がい者・要介護者

普段通っている支援事業所などで、被災時の相談をしておきましょう。同じ状況の家族と知り合いになると相談ができていいですね。

ジェンダー

女性・男性専門の相談員がいる窓口を知っておくことが大切です。LGBTQ については、オンライン相談も普及しています。

外国人

東海市国際交流協会が開催している日本語教室やいろいろなイベントに参加して、地域の人と交流する機会を持つといいですね。

アレルギー

オンライン健康相談が普及しています。継続的に飲んでいる予防薬がなくなることはとても不安です。調べておくといいですね。





「ほっとタイム」より 一部抜粋

「熊本地震の経験より」凶事は慶事となる…きつと

やまなみこども園 前園長 山並道枝

新学期が始まって 1 週間も経たない4月14日、保育園は保護者会総会の準備で大半の職員が居残り資料作りをしていました。帰り仕度を始めた頃、ドーンという地鳴りと共に激しい揺れが来ました。コピー機、印刷機が動き、本が降ってきました。倒れそうな棚を体で支えていた男性保育士が「早く外に出てください！」と叫んだのでハッとして外に出ました。

近所の人や園児家族などがくじらホールに集まってきました。まもなくして 16 日夜中の本震がやってきました。翌日、全国保問研からの特使が到着しました。鹿児島から吾孫子さんがトラックいっぱい支援の物資を運んでくださったのです。紙おむつ、パンツ、おしりふき、食料品、大量の水、今まさに必要なものばかり。頼もしくて月光仮面のおじさんのように光り輝いて見えました。天草のたからじま保育園のまつんも同日、肉や魚、卵などの食糧品や野菜、穀物などを東京保問研の命により“正義の味方参上！”みたいに駆けつけてくれました。

次々と、日用品、ミルク、生活用品、絵本、衣類などを送り届けて頂き、別棟2歳児のひと部屋がいっぱいになりました。託されたものを必要とする人に届けなければと、職員は学校の避難所をまわり、個別に希望を聞いたりして届けました。また、民間支援団体の事務局が近くの美容室BOYさんにあり、そのネットワークを通して紙おむつ、おしりふき、ミルクなどほしい方に配っていただきました。近隣の保育園、認可外保育園もずいぶんこの支援物資に助けられました。

独身の職員はボランティア兼務で、一緒に避難した方たちと寝泊りし、お世話をしてくれました。肩寄せ合って見知らぬ同士も寝食を共に過ごした10日間はむしろ楽しいことも多かったのです。車いすで来られた高齢のご婦人は家に帰られるとき「ここは楽しかった。子どもたちもみんなやさしかった」といって名残を惜しんで帰ってゆかれました。絶え間なく余震が続く中、子どもたちの笑い声が絶えなかったことが大人にとっての希望であり、明日を信じる力になりました。卒園生の高校生ボランティアも代わる代わる来てくれました。

NP0 法人ひかるつめくさ やまなみこども園 〒8620906 熊本県熊本市東区広木町10-2

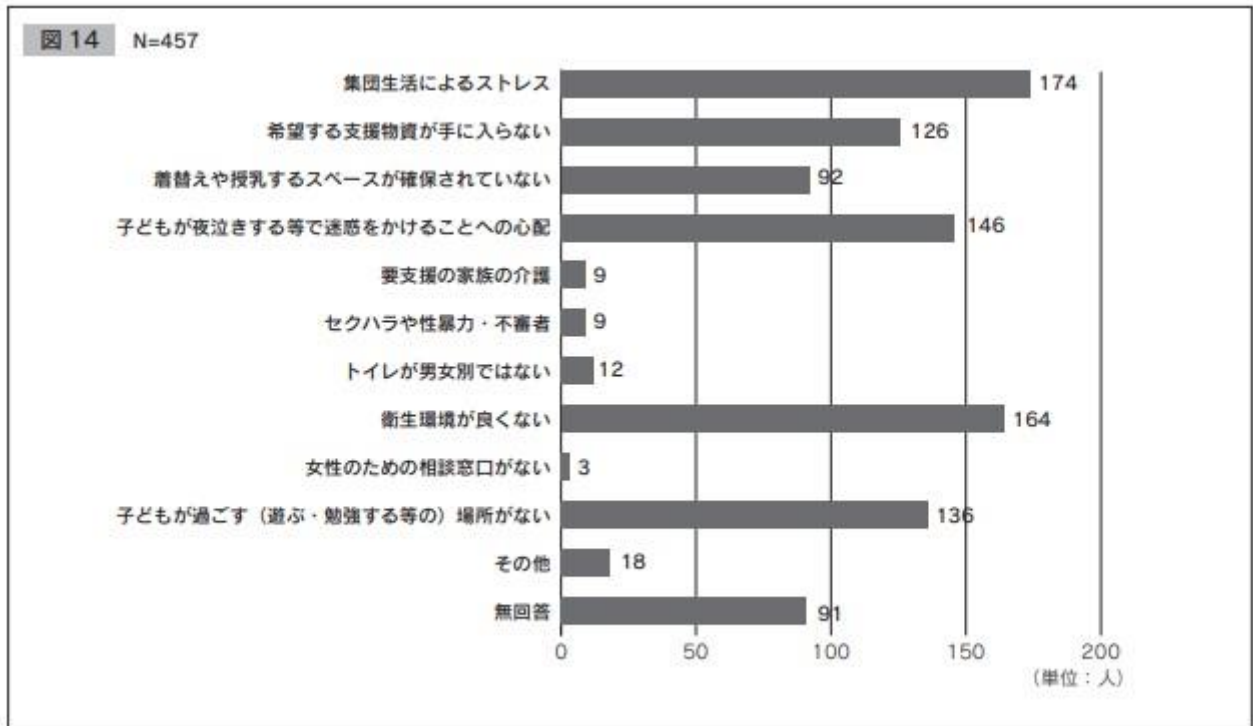
やまなみこども園のホームページ <https://yamanamikodomoen.or.jp/>



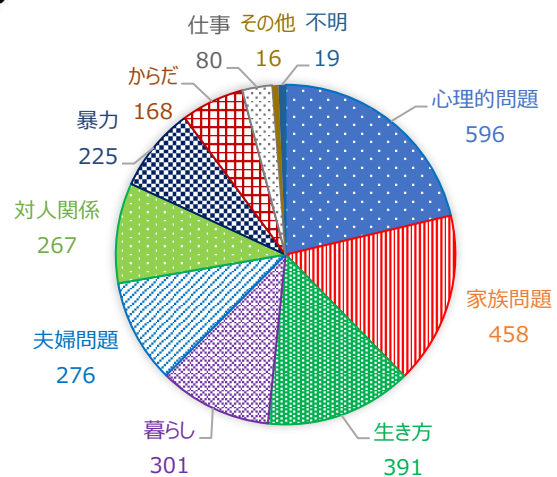


「熊本市男女共同参画センターはあもにいい」

避難所での生活で不安・不便に感じたことは何ですか。(3つまで)



Check 日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談内容



暴力に関する相談内容

相談内容	件数	%
精神的攻撃(経済的・社会的含む)のみ	128	56.9
身体的暴行と精神的攻撃	55	24.4





令和 5 年 1 月発行

編集：NPO 法人 SmileyDream

発行：東海市 市民福祉部 女性・子ども課 女性活躍支援担当

〒476-8601 愛知県東海市中央町一丁目 1 番地

Tel：052-603-2211・0562-33-1111

E-mail：kodomo@city.tokai.lg.jp